

わ か ば

ワカバ会
46号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590

時間 午前10時～午後4時
休日 土曜・日曜・祝祭日



三田高校校舎

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一

(8-13)



過日、都立高校の同窓会の運営する山荘等の利用状況について、連絡会が開催されました。

各校の同窓会においても、会員の利用者が低迷しており、どのようにしたら活発化を図ることが出来るか、大いに苦心をしている様子です。会員の利用の活性化の方策については、これと言った提案はなく、今後も互いに情報交換をすることになっております。

ワカバ会では山荘を数多くの方に利用する同好会や趣味の会など種々の催しものを利用していただき、それらを通じて会員の皆様の交流に寄与しておりますが、会員のより一層の多くのご利用を望んでおります。

山荘の利用のみならず、総会のあり

外国語教育の重視

ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長

岡本 裕之



本年度、ヘルシンキで開催された世界校長大会のスタッフの中心

は高校生であった。臆することなく、世界の校長を相手に堂々と英語で対応していました。

フィンランドでは、母国語の他に、スウェーデン語を第二国語として学び、英会話も高校三年までには、ほぼ全員ができるようになることでした。

ドイツで開催された主要国首脳会議において、初めて教育が主要なテーマ

方などについても会員の皆様のより積極的且つ具体的なご要望をお聞かせ下さい。なによりも会員の皆様にご協力を頂き、ワカバ会を益々発展させて、一人一人の会員に魅力のある同窓会でありたいと考えております。

今後、ますます国際化が進展する社会では、外国語の修得は必須の条件になっていきます。

本校は創立以来、広く世界に目を向ける生徒の育成に努めてきました。現在も、留学生・帰国生を受け入れ、国際理解教育を推進しております。

初代校長丸山丈作先生が外国語の修得を重視したように、二十一世紀を力強く生きることのできる生徒の育成を、外国語の修得に力点を置き、更に、伝統を重ねたいと思っております。

山荘夏期営業終わる

南軽井沢のワカバ会山荘の夏期営業が終わりました。今年もたくさんの方の皆様にご利用いただき、誠にありがとうございました。緑豊かな南軽井沢の林の中で自然を満喫していただけたことと思います。来年のご利用については来春の「わかば」でご案内いたしますので、皆様ぜひご利用下さい。

目次

会長挨拶	1
名誉会長挨拶	1
先生方の近況	2
特集 第六通信	3
私の近況	6
ワカバの輪	8
OB会連絡先	8
支部連絡先	10
情報ひろば	10
ワカバ会行事に参加して	11
これからのワカバ会行事	12
総会報告	13
決算・予算	13
理事会等報告	13
委員会報告	13
評議員・理事・監事一覧	14
追悼	15
事務局だより	16
編集後記	16

先生方の近況

(敬称略・順不同)

保体・永井 幸子

おかげ様で元気に過ごしております。息子夫婦と三人の孫と同居で賑やかな毎日です。少しだけ頼りにされ、あとはうるさがられ乍ら何とかやっております。

教頭・緑川 佑介

都立高校を退職して一年。二松学舎大学附属沼南高校で校長を勤めています。自然に恵まれ、教員や生徒に恵まれて楽しい毎日でした。

しかし、四月からは、大学本部の入試部長の兼任を命じられ、大学生を募集するために「寅さん」になります。

二松学舎で文学を学びたい生徒を募集しております。

英語・内山 尅夫

内外の美術・芸術・大学・遺跡・神社・仏閣を訪ね歩いていきます。今年は尿前の関跡、プラド美術館、セビリア大学(旧タバコ工場)を訪ねました。ジブラルタル海峡の水に浸りました。

国語・荒木ラン子

您好ノお元気ですか。雪谷高校に異動して三年目。赴任してすぐ担任、三年で進路指導、体育祭応援・チアの担当、部活はチアリーダー部で大会前の練習で連休なしです。そういえば春休みも夏休みもない日々です。体を飛ばして、キャッチするスポーツで危険この上なく、心臓がパフパフ、生きた心地がしません。でも一心同体の感覚が強く、結びつきはかたいのです。荒木ラン子チアリーダー、かなりはまっています。ダンス部の皆今度ぜひ会いましょう!! 三田の名が出ると胸きゅんものです。

理科・横田 憲治

渋谷教育学園幕張高校講師をしています。秩父の田舎の山に個人天文台を建設中です。(すべて自分の手作りで)

嘱託AVL・河原 義朗

平成六年四月より十一年三月まで嘱託として三田AVLにお世話になりました。その間、模擬面接などで三年生とは毎年三十名くらいお話しできました。たが、授業などでは接しませんでした。大変心ゆくかな生徒が多いと思います。五年間楽しく過ごさせて戴きました。

生物・下河原 五郎

下北沢にある私立成徳学園中学・高校の校長をしてまだ元気に学校経営に当たっています。

何時の間にか白髪になり、古稀を迎える歳になってしまいました。が、休みの日等は山野を歩くなどお蔭様で病氣もせずにながらばっています。

数学・松田 啓子(泉頭)

四月二十四日に昭和五十一年三田入学の旧一年三組のクラス会をしました。担任だった私も誘っていただき、二十人のクラスメートと共にたのしいひとときをすごしました。三田卒業後二十周年という記念のこの集まり、仲間が皆元気で活躍されていることを何よりうれしく思いました。私は現在日比谷高校の講師として、又仕事をしていきます。

事務・佐藤 栄士良

公立学校勤務一途に四十五年歩んで参りました。その間昭和三十四年から四十五年の十年余りの間三田高校に在職し、数々の思い出、様々な方々とお会い出来、特に独身最後を飾れたこと、職員旅行でワカバ会軽井沢山荘を利用していただいたことなど思い起こせば枚挙にいとまがない程です。

理科・小泉 文子(山田)

女学校時代に鍛えて下さった賜と感謝しつつ、あちこち出かけております。昨年は、マダガスカル・インド、今年に入ってヨルダン・シリア・レバノン等遺跡を訪ね、毎日歩き廻りました。六月に『内なる光』という本を教文館から出版することになっています。

国語・大橋 禮子

ミニ個展(かな書道と水墨画)をこの一年間に四回開きました。シーズンごとにテーマをしぼって、短歌や俳句を選び、又花の画題を採りました。自然と共に自己表現の一端を、ささやかながら披露いたしました。

嘱託美術・長雄 新一郎

庭のパンジー・イキシア・スマイレが今が盛りです。夏の画題(モチフ)にと山ゆり・ヒマワリ・キク(15株)等の手入れ、トマト・インゲンの手入れなど職中にはまるで縁のなかったガーデニングをやっています。一昨年は私の庭で三田高卒生(三人)の来客、パーベキューパーティを行いました。庭の花は近所評判Gです。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

特集

第六通信

あしあと

1-B 岸田多摩江 (植原)



府立第六の一回生として第三高女の借教室から十番通りを一人一

人椅子を抱え歩いて三田の鉄筋コンクリート建ての新校舎に越して来た時の喜びは遠い日の思い出となり、今私は八十九歳と年を重ねて参りました。明治生まれの私達が校服を着たりブラウスにブルマーという体操着姿さえ珍しがられた時代に、初代の丸山校長先生は新しい女子教育を目差し次々と実行に移されました。月一回の校外教授で

一日中歩いて近郊を見学したり思い出は尽きませんが、私達が新しい校風を作る基だと教え込まれました。結婚後志す道は閉ざされ、人並の苦労を経た主婦の晩年を迎えました。

多くの別離にも耐え、今は暮る老いの厳しさの中で親しい友に支えられ詩吟と編物を習っておりです。「いまだ萎えぬ我が手に孫へのセーターを編みつぐ雨の日八十路も楽し」の心境です。

思い出

1-D 横山 英子 (高柳)

学生時代の思い出の事、色々ございますが、とにかくお友達が次々と先立たれてしまい心細くなりました。

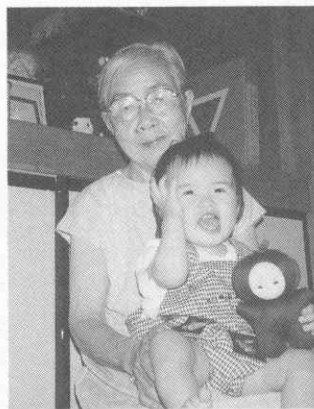
思い出の一つは槍ヶ岳登山、丸山先生始め六人の先生生徒八名大正十四年の夏休みでした。いまだに私の自慢でございいます。それから大正十五年の赤倉でのスキー、勉強の好きでなかった私の思い出は専ら遊ぶ事になってしま

います。卒業後結婚して満州に渡りあちらで折々同窓会を開いたのも何よりも懐かしい思い出となりました。当時の方々も半ば他界されましたが。海外旅行のツアー中で同窓生とあったりして(勿論ずっと若い方達ですが)思わずはしゃいでしまします。年のわりに足が丈夫だと褒められます。先日もスイス旅行にゆきたっぷり歩きました。これもひとえに丸山先生のお蔭と感謝致しております。

思い出・近況

3-C 熊谷 きん (今泉)

第六入試の口頭試問で背の低いことについて先生方を大笑いさせましたが無事入学、クラスメイトにベビーちゃんと呼ばれ何とか身長を伸ばし度く体育を熱心に励みました。努力の甲斐なく小さな老婆になってしまいました。校長先生に歩くことの大切さを学びお蔭で足の強いことだけが唯一の自慢です。一昨年母校を訪ねたい念願が通り、在京の次男と田町駅から五年間通った路を往復、新校舎、生徒さんの絵等ゆっくり拝見させて頂きました。



昨年は名古屋支部の同窓会に初めて出席、嬉しいことが続いた時、ワカバ会事務局から大きな封筒が届きました。開けて見てびっくり。七十年前に画いた兄の横顔の水彩画でした。

今、郷里の山の家に来ていますので兄の家族達にも披露、故人の思い出を語り合うことが出来ました。

若い時に身体をきたえる

4-I 鈴木 文子 (恒石)



青葉の美しい今日此頃皆様御元氣ですか、第六高女を卒業して早

六十七年、満八十六歳、未だ元気に内科、小児科医を開業して居ります。去年迄は車の運転もして居りました。

第六は運動が盛んでした。遠足も毎月一度はありました。学生時はバレーボール、ランニング、三段跳びの選手でした。運動のお蔭で今も元気に働ける事を心から感謝して居ります。

若い時に身体をきたえたと年を取ってからも元気に働けます。何卒皆さんも若い時に運動をして身体をきたえて下さい。年を取ってから、全然違ってくる来ます。

今は子供の時から好きだった書道を続けて楽しんで居ります。一年に何回か展覧会に出品して居ります。趣味を持つ事は楽しい事です。何卒皆様御身体御大事に。

三田高校の前身「第六高等女学校」卒の方々に、学生時代の思い出、近況など自由に書いていただくシリーズです。今回は一回から五回卒までの方にお願ひしました。



八十五歳

頑張っています！

5ーア 鈴木 共子(鈴木)

第六高女五回生といっても、最後の一年を残して上野(現、芸大)に進んだので四年修了生ということになります。毎日欠かすことの出来ない練習、レッスンのため毎年の修学旅行、夏冬の休暇行事にも参加できませんでしたが同級生、また今は亡き音楽の河野清先生の温かい眼差しに支えられて本当に楽しい毎日でした。

丸山校長先生の御方針で毎月一回の歩こう会で十六キロ、二十キロの徒歩遠足、一年中泳いだ室内プールのおかげで今も桐朋学園大の生徒たちと共に勉強していられて本当に感謝しています。すばらしいことに同級生の相浦さん宅で青山さんを師として毎週、小沢、渡辺、松山の皆さんが古典文学の勉強を続けていられ、時折私も邪魔させ頂くのを楽しみにしているのです。

二月の遠足

5ーイ 佐々木 綾子(原)

昭和七年二月二十六日、私たちは卒業を前に最後の遠足をした。東横線菊名駅に集合して小机方面の泉谷寺を目指す。冬枯の田畑の寒さむと拡がる野をひたすら歩く。やがて、灰色の空が

堪えかねたように白いものを散らし始めた。向い風に乗った雪片は睫毛の上にも留って、景色を茫と霞ませる。

泉谷寺の天井の高い畳の部屋でお弁当をいただく。仏殿との間仕切りに艶やかな桜の絵の板戸が建てられていた。廣重の描いたものだという。お弁当をいただいているうちに、音もなく庭は真白になっていた。帰途「雪中行軍」などと言いながら首を伸ばして歩くと、気紛れな雪は目と云わず鼻といわずにたまには杓元からも飛びこんできた。冷たい感覚が脳に伝わったとき、雪は一滴の水となって私の胸を流れていた。

おなつかしい

先生の思い出

2ーA 山崎 アイ子(須藤)

私ほどの年齢になりますと思いい出も次第に薄れて参ります。でも御指導いただきました先生は今も尚おなつかしく思い浮びます。

丸山校長先生の黒い詰襟のご長身のお姿、国語の中西先生は私達のあこがれ、体操の太っていらしても軽やかな戸倉先生。特に四年間通して受け持っていたいただきました英語の氷上先生、四ツ切りの試験がこわくて昔の時計台の下で猛勉強したことをなつかしく思い出します。

私達の七草会

5ーウ 鈴木 むめ子(石井)

昭和二年私達五回生の入学で生徒数一二〇〇名となり、校庭での朝礼、神宮外苑でのマスゲームは感激的でした。

昭和七年、卒業第一回のクラス会を、和作法室で担任だった臼井先生を囲んで、当時盛んだったゼスチャーゲーム等をしました。この時は殆ど全員が出席、卒業の年に因んで七草会と名付けた様に覚えていきます。激動の戦時中を除いて、幹事二名が交代で今年五月まで続けました。昭和五十七年には卒業五十周年を記念して、築地「田村」に長浜先生をお迎えして十三名が集り、昔ばなしをしました。以後銀座「ざくろ」日本橋「鴨川」赤坂「壺中の天」、恵比寿ガーデン、横浜、そして今年は明治記念館で、七草会最後の幕を引きました。出席者は八名、杖が二本ふえました。



人生の幕を何処で引くか、転ばぬように、さよならに代わる言葉でした。

昭和2年の北アルプス大縦走

『山霊もおどろく女学生の大縦走、僅か十五歳の府立第六高女生、新記録をつくって帰る』昭和2年8月の信濃毎日新聞の記事です。女子の団体としては、始めて燕岳、槍ヶ岳、烏帽子岳の縦走し、中房温泉から餓鬼岳に登ったのも女性としては初と書かれたそうです。今でも大変な北アルプスの縦走を70年も前に林間学校の行事として行なわれた第六高女の前輩方には敬服するばかりです。

(三田高校40周年誌を参照させていただきました。)



燕岳山頂にて

北アルプス南部

(山の名称は「左」を指す)



わかば45号にご紹介しましたように、ワカバ会事務局の蔵書の中にありました一回生の卒業文集と三回生の水彩画をご本人あてお送りしましたところ、たくさんのお礼のお手紙をいただきました。その一部をご紹介します。

1-A 金田一和子(八木)

昨日、突然ワカバ会からの郵便を頂き、何だろうとびっくりして中を見まして、またびっくりいたしました。そしてほんとうになつかしく嬉しくて、ご近所のお友達と一緒に喜んでおります。大変なお手数をおかけいたしました。ありがとうございます。私の一生の宝でございます。何回お礼を申し上げても云い足りない程嬉しうございまして。

私も今年は八十八歳になりました。お蔭様で元気で、自分の事は全部自分でやれます。一人で二十四時間、自由に使って楽しんで居ります。学校時代毎日歩く遠足がありましたね。ほんとうに嫌な時もありましたけど、今しみじみと丸山校長先生のお蔭と感謝いたして居ります。なつかしい青春時代を思い出して感無量の思いにひたらせて頂きました。娘も近くに住んで居りますので、大変によるこんで孫達にも読ませてあげようと楽しみにしております。

1-D 小倉ミサホ(渡部)

此の度は誠に思いがけなく、昔々の忘れてしまった様な、又夢の様なものをお送り頂き、誠に驚きますやら涙がこぼれます程嬉しく思いますやら、暫くの間ボーッとします程感無量の思いでございます。早速に読み返してみまして自分ながら幼稚なお恥かしい文章でもきつと当時はこれでも一生懸命でしたかしらと思ひながら、感謝申し上げます。気持ちで一杯でございます。

当時から七十年余：丸山校長先生、主任深井先生はじめ先生方のお顔やお声を思い出したり、又級友のお名前がズラリとならびまして、もうあちらの世界に逝ってしまった方々の事、涙をながしこぼしながら誠に感無量とより云い表し様のない思いでございます。

ワカバ会も長い間の卒業生で本当に大勢の方々になりました。私の孫娘も会員でございます。

種々ききぬ思いにひたりながら級友と又お話し合いの楽しい種が出来ました。

3-B 三浦ヤス(中尾)

此の度は思いがけなく大変なつかしい画をお送り頂きまして誠にありがとうございます。もう六十七、八年も

前のことで、よくこの様にきれいに保存して下さったことを有難く思います。

図画は特別好きな学科で高橋重雄先生にはいつも丁寧な教えて頂いたことを覚えて居ります。

時々三階の講堂へ行く途中の廊下の壁に生徒の画がはり出されていることがありましたが、私の下手な画もその中に入ったこともありまして。

今こうして昔の画を見せて頂いて「わたしこんなに上手に描けたのかしら」と首をかしげても、此の頃のように忘れっぽくなってしまうかもしれませんが、他の方が描かれたのではないかしらと思ったりして居ります。でもそんなことはそれはそれなりに今は夢のようになつかしいこの様な画を送って頂いて、私はほんとうに長生きをしていてよかったと心から嬉しく厚く御礼申し上げます。

3-C 澤田恭子(西村)

ワカバ会創立七十周年総会は、つい先日のおもひましたのにはや初冬を迎えおどろいておりますところに、又、六、七十年ぶりの自分で書きましたと思はれる絵画を御届け頂きびっくりいたしました。有難く御礼を申し上げます。われわれの年はきびしい年を体験いろいろ失ひましたので、本当にうれしく尊くおもひます。

3-D 尾口都(加来)

前略 先日は思ひ掛けなくも旧作御送り頂き恐れ入りました。六十数年の昔が一瞬にやみがえった心持、なつかしく存じました。

私肉体の老化は何とも致し方の無い状態ですが、心は第六3Dのまま、現在家族ひとりひとりが「幸せヨ」と口に出して話合える良好な状況で過ごして居ります。あの絵は早速孫手造りの額に入れてくれました。



3-D 上田(小坂)いく



作者不詳



3-C 大場(酒井)幸子

私の近況

私の近況

1-2 小菅 資枝 (永井)

高校を卒業して丁度五十年になりました。旧制女学校から新制高校へ移る過渡期で、級友の多くは女学校五年で卒業し、私は高校三年に編入され、二度卒業式を致しました。戦争中に入学して、勤労動員も経験し、戦後の混乱期に学生生活を送りましたので、余り楽しい思い出はありませんが、それでも女学校五年間は組替えもなく、一番なつかしく思い出されます。

今は亡き幡谷和子先生(国語)が五年間担任で、国語の苦手な私はきびしい授業にいつも小さくなって居りましたが、その私が趣味として俳句を始めてもう四十五年になります。私の俳句を先生がごらんになりましたら何とおっしゃるでしょうか。今でしたら先生とも親しくお話が出来るのではないかと残念に思うこの頃です。

色淡く都会の虹は消えやすき

夢

11-5 柏戸 ひろ子

音楽に合わせて軽快に踊りたい、この永年の夢を実現する最後のチャンスと、四月からジャズダンス教室に通い始めた。若い時十年間クラシックバレエをやったのだ。たかがジャズダンス。私より平均十歳も若い経験者達の間に入っても、さして見劣りはしない筈。これが甘かった。皆より二拍、いや三拍は遅れっ放し。昔は連続十回転くらい平然とこなしたのに、今や二回転で目がまわってクラクラする。第一振付けが覚えられない。私の夢と自惚れは、哀れ無惨に砕けてしまった。

テレビでは、宇宙飛行士グレム大佐の写真の隣りで女優さんが「77歳で夢を持つのは素敵ですねえ」と微笑んでいる。77歳で夢を持つには、77年の



今回は高校の卒業回数末尾1の方に原稿をお願いいたしました。

合掌

21-4 村岡 敏夫



努力の積み重ねがなければならぬのだ。惰眠を貪って来た私の夢は、夢ではなく妄想と呼ぶべきだったのだろう。

私は高校卒業後、武蔵野美術大学彫刻学科に進み現在、木彫家「佛師」として仕事をしています。今年も東京・日本橋のお寺へ「十一面観自在菩薩」を納めました。高校時代は、バスケットボールばかりやっていた生徒が、なぜ佛師の道へと人に聞かれます。私の父も佛師、代表作に東京・浅草寺の仁王様(高さ5m)を彫っており、学校から帰ればいつも小槌の音がする毎日。

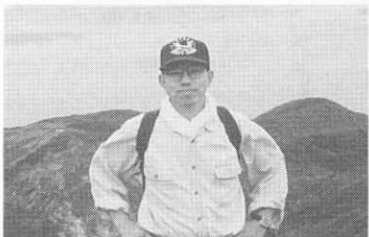
父の彫った仏像に手を合わせ涙を流している人に接し、自分も感動し、だんだんと「手を合やす仕事」佛師の仕事を考える様になり、この道へ入りました。今は居を東京から神奈川県逗子市へ移し、仕事をし、二ヶ月に一度のペーシングで高校同期の仲間と逗子でテニスを楽しんでいます。仕事は、これから五大明王を彫ります。今は各像の下絵を

書いており、二年位かかる仕事になります。そうす。

下田の海の研究室にて

31-6 青木 優和

いま、伊豆下田の海に面した研究室にいます。窓からは海水浴客でにぎわう浜辺が見えます。三田高校を卒業後、ほぼ二十年が経ちました。中学から高校時代に生物学に惚れ込み、生物学を学ぶために大学に進み、大学時代に海の魅力にとりつかれました。その後まっしぐらに海洋生物学研究の道へ進み、現在筑波大学講師として伊豆下田にある筑波大学下田臨海実験センターで海洋生物生態学の研究と教育にあたっています。下田沿岸の海に潜って海藻と海藻に関わる動物たちとの関係を研究するのが主な仕事です。他に、研究船での沿岸海域の生物調査や臨海実習の指導、大学生や大学院生の指導なども行っています。



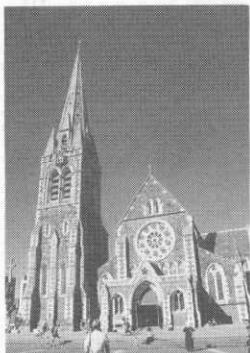
最近では、社会人や高校生が対象の種々の啓蒙活動も行い、海の豊かさ、素晴らしさを広く知っていただきたいと思います。

南十字星の国、再訪

41-4 藤本 邦之

大学卒業後は東京都庁に就職して、今年で七年目です。交通局の人事課に所属しています。結婚してからは、三田高校の近所、芝浦に住んでいます。「交通局報」の職員自己紹介の欄に、標記のタイトルで掲載された文章を引用します。

『私が自分の脚でペダルを踏んで、未知の風景を切り拓くことに魅せられたのは中学二年の頃。日常を後方へ追いやって、日本全国から南十字星の国、ニュージーランドと走り続けました。そんな自由な翼を携えていた日々の残照は、私にとっての財産ですが、今年の春(現地は秋)、未来に属する財産を得ることができました。結婚式を挙げたニュージーランド、クライストチャーチの街には、女性市長が復活させた市電がのどかに走り、市民や観光客に親しまれていました。大聖堂広場に人々が憩う午後の風景は、七年前と変わっていませんでした。』



私の近況

21-7 土谷 良巳



卒業してからの年月の三分の二の二十年を、浦賀水道をはさんで房総半島の鋸山を望む国立特殊教育総合研究所で過ごしている。一九七九年には重い障害がある子どももすべて学校教育を受けられるようになり、以来、障害が極めて重く、重複した子どもたちとの係わり合いのなかで学び続けることが、わたしの研究そのものであった。子どもを前にして何もできないわたしのとまどいと苦悩。わたし自身が子どもとともに障害状況にあることを知った。そして子どもから学ぶことで、子どもとともに一歩でも抜け出ることができ喜びを実感した。いまわたしが係わりを持っているのは、見ることで聞くことの双方に生まれながらの障害をもつ子どもたちである。この子どもたちを見つめることで、自分を見つめる日々を与えられている。

KOHTAIREN

11-4 高田 日呂美

私が三田高校を卒業したのは、昭和三十四年三月、東京タワーが完成して間もない頃でした。現在、都立駒場高校の校長をしています。駒場高校は府立第三高女でしたから、三田高校の前身である第六高女が産声を上げた所です。その頃は麻布日ヶ窪にあって、第六の生徒が机と椅子を持って三田に移ったことが記録に残っております。

駒場高校は、普通科の他に専門学科としての保健体育科があります。そのこともあって毎年全国高校総体(インターハイ)や関東大会に多くの生徒が出場します。三田高の岡本校長の後を継いで私は現在、全国高体連の理事長をしています。高体連の内容を一つ層豊かにするために、今こそ運動部活動を更に充実することが大切だと考えています。そして「KOHTAIREN」を世界に向け発進したいと思っています。



三田・見る・スポット

三田高校のあたりがやはりなつかしい、でも駅から少し道のりがあるし、なかなか行けなくて…という声にお答えして、簡単になつかしい街を眺められる場所をご紹介します。JR浜松町駅に隣接した世界貿易センタービルの40階の展望台です。三田高校はすぐ前の三田国際ビル(昔の三田警察署跡に建った高層ビル)に一部かくれていますが、三田のあたりからお台場のあたり一帯すばらしい眺めです。東京タワーは間近という感じ。360°東京を眺めた後、西の方を見るとこれからの秋冬の晴れた日には丹沢山塊の上に気高く富士山が見え、ずっと左の方には箱根の山々も見えます。山々のシルエットを映した夕焼けの美しさは心の中まで茜色に染まるようなひとときです。(K)

シーサイド・トップ:

世界貿易センタービル・展望台(40F)
(港区浜松町2-4-1)

営業時間: 午前10時~午後8時入場
年中無休(12月30日・31日だけ特別休業)

アクセス: JR浜松町駅のモノレール口または北口から出て、ビルの一階から展望台行きエレベーターに乗る。(料金大人620円)
(1999年9月現在)

問い合わせ先: 03-3435-6026

小此木先生の白寿を祝う会

祝う会発起人

文責 茨木万理 (191エ)



先生と第六高女4回生の方々

四回、十九回及び高校三回、中学二回の元生徒約百名が出席して開かれました。

高校三回の高橋美也子様の巧みな司会で、和気あいあいのうちに進行し、お元気な先生のご挨拶や、黒田節の踊りのご披露、校歌斉唱、ご健康を祈る萬歳三唱等でしめくられました。

黒一点のご子息様のお話からも、先生のお幸せを感したことでした。

小此木先生は、昭和天皇と同じ、一九〇一年のお生まれで、まさに20世紀を共に歩んで来られ、今後もおすやかに21世紀をお迎えになることを一同

心から願っております。
この会をリードして下さった高校三回のメンバーに拍手を送ります。

登志先生が残して下さった「教え」

21-3 持田りつ子(乾)

卒業してちょうど三十年が経ちました。これまでほとんど二年の間があくことなく続いてきたわが三年三組のクラス会。今年は三月に担任であられた高橋登志先生がお亡くなりになり、五月にはクラスメートだった海老原佐貴子さんが乳ガンの転移により亡くなるというとても悲しい年になってしまいました。いつものほなやいだ雰囲気とはちがい、何となくちょっと沈んだ気持ちではじまったクラス会でしたが、近況報告に加え、それぞれが登志先生の思い出を語り合ううち、いつも自然体で音楽会やお食事などお出かけが大好きで帽子をかぶってさっそうと歩いていらした登志先生がみごとによりみがえってきました。クラス会のたびにいつのまにか自然に私達に教えて下さっていた「素敵な年の重ね方」。しっかりと受け継ごうと思う今日この頃です。

20世紀最後の12回生同期会

12-13 山本 紀一

「今世紀最後の」と銘打った12回生の同期会を、五月十五日に日比谷の東京会館で開きました。今回は、三田高校の歴史上初めて最後の男子だけのクラスが当番幹事ということで、開催を危ぶむ声もあったようですが、七十四人の参加を得て、にぎやかに開くことができました。白寿を迎えられる小此木先生をはじめ、山形からおいでになった山本先生、寺尾先生、元木先生が御出席下さり、先生方のお元気なようすに、一同大いに驚かされました。卒業以来三十九年ぶりに初めて出席した人や、鳥取、仙台など遠くから駆けつけた人もいて話に夢中になり、予定した三時間半もアツという間。名残りを惜しみながら次回は二年後の二〇〇一年、還暦の年に開くことにして閉会ということになりました。次回は、同期生の三分の一、一二〇人くらいが集まれば……。



OB会連絡先 (ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	篠根 章高	6-4	179-0075	大宮様方アメフト部後援会気付 練馬区高松 6-12-3	3996-2674
ラグビー	永井 太郎	15-3	358-0054	入間市野田 921-1	0429-32-8060
バドミントン	江口 洋平	43-8	140-0011	品川区東大井 4-8-10-605	3450-1176
弓 道	石井 健一	42-8	144-0045	大田区南六郷 1-33-3-302	3732-4960
管弦楽	甲斐 順也	44-8	105-0014	港区芝 3-14-5-307	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	大田区仲六郷 4-13-10-106	3733-1326
水 泳	井野元 大介	49-1	143-0023	大田区山王 2-7-46-302	3777-3649
卓 球	横堀 和歌子(佐川)	20-7	146-0092	大田区下丸子 3-10-1	3757-2273
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	港区高輪 2-1-11-611	5448-9065

家事調停委員として

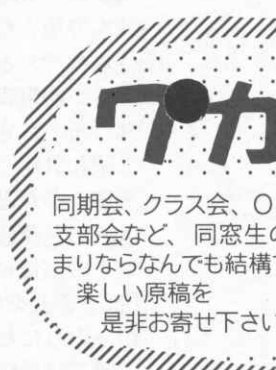
14-オ 長村 滋子 (正木)

今年は家庭裁判所創立五十周年に当たる。私は昭和二十四年に米国に留学苦学し、その後二十七年間家事調停委員を務めた。平成四年には東京家庭裁判所の参与員と家事調停委員からなる参調会の副会長となり、盛大な記念式典の際に両陛下をおもてなしする任を担った。後日夫と共に招待いただいた園遊会で両陛下から調停に関するご質問を戴き、お答えした事を光栄に思っている。

家事調停婦人委員全国大会で総司会やパネリストに指名され遂行出来た事を誇りに思っているが、その都度各地で活躍されている同窓生の委員の方々と会食の機会を作った。その際の出席者の写真と私の存じ上げている退任と現役の委員の方々を左記にご紹介する。今後は非同窓の若い方々が続いて下さることを期待している。



4-ウ川瀬 豊子、9-イ長野光子、10-ウ星和子、11-エ鈴木明子、11-オ石川佐伎子、12-ア浅岡翠、12-イオ熊井頼子、13-ア甘菜幽香子、14-オ長村滋子、16-



村井弓道倶楽部

創立十周年記念パーティー

42-8 石井 健一

去る六月十二日、日本橋のレストランにて村井弓道倶楽部の定期総会を盛大に挙行致しました。倶楽部創設十年目にあたり、村井先生、現顧問森先生を迎え、多数の参加がありとうございました。思えば、十年という長い年月の間、現在の様なOB会に発展する事が出来たのは、一重に先生方や代々の幹事の並々ならぬ三田高弓道部に対する情熱と努力の賜に他なりません。

弓道の本質は、正しい人間形成を求める奥深く厳しい修業道ですが、先生方は、そんな基本の徹底の上に、部の協調・調和を大切にされました。この理念が今のOB会に生かされているのだと、強く感じたのでした。次に集うのは二十一世紀です。今から楽しみです。最後に、石井千代さん達から素晴らしいお花を頂きました。ありがとうございました。

真夏の夜の夢

「二日だけ高校生に戻って」

25-6 谷口 晶子 (木村)

厳しい残暑がちょっと一休みした八月二十八日、塩沢先生、高部先生、福島先生をお迎えして赤坂キャピトル東急ホテルで十一年ぶり三回目の同期会が開かれました。前回同様今回も一次会百三十一名、二次会九十六名と三分の一以上の出席率で大いに盛り上がりました。

髪の毛が薄くなった人、倍近く太った人など予想はしていましたが皆四十も半ばのなかなかイイおじさん、おばさんになっていました。それでも話し始めるとタイムマシンに乗ったようにパッと高校生に戻って、あだ名で呼び合いながらあの頃と同じ笑顔で冗談を言い合うのですから、本当に同期会って不思議な素敵な集まりです。



お開きの頃には幹事を務う言葉と共に皆から「楽しかった」との声を聞くことができ、幹事としての苦勞も満足感に変わったイイ一日でした。多くの人と連絡がとれ、このように盛大な同期会が開けたのもワカバ会のお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

大室さん追悼

27-7 田口 修

突然の訃報を聞き、ただ啞然とするばかりで「とても信じられない」。それが、我々フットボール仲間の偽らざる気持ちである。今でも、あの甲高い声で、にこやかな笑顔で、我々を迎えてくれる気がしてならない。

思えば、大室先輩は、アメリカカンファッショナル部設立の功労者であり、育ての親であった。卒業後、コーチとして後輩の指導にあたられ、昭和四十九年の部昇格に多大な尽力をされた。その熱意は、OBチームの結成を生み、社会人リーグまでを作り上げた。校外の新たな仲間も加わり、現役を支援するOBの組織が出来た。それもこれも、大室先輩の情熱と実行力、心温かい人柄があったからだと思う。

多くのフットボール仲間がここに、感謝と哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌

情報ひろば

◆新刊紹介

①『廻り合えた人びと』

著者：山室美喜（美野）（4-エ）

発行所：武蔵野書房 定価：2,500円

昭和元年4月、三田高校が三田の現在地に創立された年に入学した著者が、その入学式の日から書き起こした随筆集。廻り合えた人びと、謡曲と私、旅その他。三田高校の方には第一部のみでも読んで頂きたい。

②『短歌でたどるおくのほそ道』

編者：紺野幸子（現姓 中村）（5-イ）

発行所：さきたま出版会 定価：2,500円

昭和51年から平成4年までの15年間「おくのほそ道」をたどり、作家・俳人の目といささか違う歌人の芭蕉観・西行観が生まれました。また急テンポの高度成長という名につられて変ってゆく「ほそ道」を旅人の目で見つつ、昭和晩年の語部のひとりになり得たと思っています。

購読御希望の方はご連絡いただければ送料無料で送りいたします。連絡先 Tel. 048-831-9157

◆第28回加藤恭二子（旧職員）ソプラノリサイタル

日時：平成11年11月18日（木） 19時開演

入場料：4,000円 於 こまばエミナース

問い合わせ先：都立三田高校 戸田雅子（19-1）

Fax. 03-3453-2899

◆石井好子ラッキー 77 コンサート

日時：平成11年12月6日（月）18:30開演

会場：芝・メルパルクホール（東京郵便貯金ホール）

料金：S席¥10,000 A席¥8,000 B席¥5,000 全席指定

問い合わせ・申し込み 03-3716-7301

石井好子コンサート事務局

◆同期会

①高5回

三田高校に入学して50年の節目にあたる来春、久しぶりの同期会を開きます。奮ってご出席下さい。来年3月に正式な御案内をお届けいたします。

日時：平成12年4月30日（日）

場所：ホテルメトロポリタン

②高7回

当日はたのしい語らいの中に私達が生きてきた激動の20世紀を思い返し、新たな未来21世紀を迎えたいと思います。皆様お誘い合わせの上、ご出席下さるようご案内申し上げます。

日時：平成11年10月16日（土）午後2時～午後4時

場所：目黒雅叙園（飛鳥の間）

連絡先：中村左都子（7-2）03-3481-0823

齋藤節子（7-3）03-3387-0311

上山洋子（7-7）0423-81-4402

◆同期生用ホームページ

33期（1981年卒）の同期の連絡のために、メーリングリストを運営しています。電子メールの使える方は mitahigh@anet.ne.jp にメールを出していただくか、<http://www4.justnet.ne.jp/~shigabo/MI TA-ML.HTM> をご覧下さい。 中村和彦（33-8）

◆三田高校OBオーケストラ第8回定期演奏会

日時：平成11年11月28日（日）

開場13:00 開演13:30

会場：中央区立日本橋公会堂 入場無料全席自由

指揮者：鴨志田達哉氏（当団常任指揮者）

管弦楽：三田高校OBオーケストラ

曲目：ベートーヴェン／交響曲第1番

ベートーヴェン／「エグモント」序曲

レスピーギ／リュートの為の古風な舞曲とアリア

メンデルスゾーン／ピアノトリオ第1番

当団では、現在私たちと一緒に演奏してくれる仲間を大募集しております。高校在学中の部、年齢などは一切問いません、詳しくは、代表までお問い合わせください。

甲斐順也（44-8）

札幌	5-エ	臼居 和子	〒064-0917	札幌市中央区南17条西12丁目2-25	011-561-8810
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
浦和	18修オ	中村 泰子	〒336-0014	浦和市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	19-ウ	越村 苗子	〒251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷3-5-21	0466-23-5441
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
名古屋	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	10-イ	原 とき子	〒660-0883	尼ヶ崎市神田北通り9-261	06-6411-0762
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	0975-43-4233

支部連絡先

ワカバ会行事に参加して

横浜散策に参加して

16-2 横嶋 昌子 (一瀬)

朝十時、横浜そごうデパート世界子供時計の下に集合。今日の天候は午後より雨。でも決行と決定。中村實先生の引率で横浜散策第二回です。最初にバスで山手地区へ。丘の上のイタリア山庭園外交官の家見学。明治の西洋館で渋谷南平台にあったものが移築復原され、平成九年五月に重要文化財の指定を受けたものです。喫茶室で小休止。

庭園へ出るとまだお昼前なのに雨がポツポツ。早目に記念撮影。外国人の町を散策しながらテニス発祥記念館へ。その当時の衣裳が展示されています。ドレスのままでテニスをしていたようです。横浜はクリーニング業発祥の地でもあります。



でもお化粧石けんやアイスクリームも。雨がひどくなつたので元町

商店街へ。中華街で美味しい昼食のひと時。そして人形の家へ。バスで横浜へ出て家路へ。雨でも横浜は楽しかったです。次回を期待しております。

(平成十一年三月二十七日実施)

第六回ゲーム大会

17-ア 田中 茂子 (森本)

九州関西はつゆの大雨でしたが、幸東京は雨も小康の日、市ヶ谷でゲーム大会に参加させて頂きました。

参加者二十四名で男性の方もいらっしやうて、中には孫の様な四十四回生もいらして嬉しくなりました。

皆様に公正に当たる様四回戦全部違う方と対戦できる様、配慮されていて感心致しました。又同窓生という和やかさが楽しい雰囲気、時間のたつのも忘れた一日でした。

お世話下さった中村様はじめお相手下さった皆様に感謝致します。

次回はぜひふるって御参加下さい。当日の入賞者は左の方々です。

優勝 (田中) 17-ア

二位 (石井さん) 6-1

三位 (野澤さん) 44-2

ワカバ賞 (深野さん) 19-イ

(平成十一年六月二十九日実施)

コーラスのつどい

18-5 橋本 百代 (高梨)



都会の喧噪を離れ、澄みきった空と涼風の心地良い軽井沢で、念願叶ってコーラスに参加した。相変わらずホッソリとお美しい加藤恭子先生は、レッスンとなるとさすが熱がこもります。まずアメリカで勉強なさっている発声練習。「体の力を抜いて、お腹はいつも張って張って、舌の力を抜いて、息を軽く吸って喉の奥をスポッと開ける。声は前へ出そうとしたらダメよ。」私達初参加者は前列でみっちりお稽古。先生は十数年前から、発声法を変えてみよう、毎年勉強の為渡米なさると伺い、感激いたしました。

夜は遅くまで先輩の方々と楽しい語らい。あちこちでご活躍のお話にとても元気が出ました。そして何かはのぼりと温かい気持ちになりました。婦りに美術館を覗けたのも、嬉しいことでした。(平成十一年七月二十八日実施)

文士村の一日

39-3 横田 美乃里

去る九月五日、「山王を歩く。パートⅡ」に参加したのですが、御案内にいただいた戸田雅子先生とは卒業以来で、とてもなつかしい再会となりました。大森貝塚をスタートに、山王会館、山王草堂記念館、龍子記念館などに立ち寄りながら、山王・馬込の文士村と呼ばれる界隈を散策しました。

道々にある案内板の解説からは文士達が住んでいた当時の様子が思い浮かぶようで大変興味深かったです。見学場所の中では、龍子記念館が印象的で、アトリエと庭園を見学した後に見た「渦潮」という題の大きな画は、いくすばらしいものでした。

興味がありながら立ち寄る機会がなかった馬込文士村をのんびりと歩く事が出来、また、先輩方と色々お話が出来て、本当に楽しい一日でした。(平成十一年九月五日実施)



ひろがれ！ゴルフの輪

8-13 井出 園子 (鮫島)



(平成十一年九月四日実施)

秋の気配漂う軽井沢72に、初参加者三名を迎えて総勢二十五名が集った。十六回目のコンペである。受付に集うどの顔も満面笑顔。朝のクラブハウスの光景はいつも和気藹々で微笑しい。十八番ホール終了後十九番ホールは山荘で。夕食時の成績発表に歓声喝声しきり。其後想い出や武勇伝などに興じて夜を過ごす。本当に楽しい。懐かしさと青春が蘇り、改めて同窓会の温かさ、結び付きの強さを知るひとときである。何と今回私が優勝させていただいた。「人生って不思議なものです。嬉しいものですね」という歌にある心境である。元来運動苦手の私のゴルフはこの会で育てていただいた。老いも若きも、上手な人、そうでない人にかかわらずなく、気持ちよく、励まし合う人々の集まりである。感謝の一言につぎ。

ワカバ会山荘の思い出

28-1 関山 悦子 (川嶋)



八月下旬、同級生の一家と共に、軽井沢の山荘に行つてまいりました。私は四度目の利用ですが、思い起こせば初めて訪れたのはもう二十年以上前、まだ卒業して間もない頃、スケジュール満載の、しかしつましい学生旅行をしたものでした。当時山荘の仕事をしていた長髪のお兄さんに、ジープで目的地まで送って頂き、大変助かったのを覚えています。今回は子連れのおんびり旅行で、子供達は牧場での動物のエサやりハマリ、よほど楽しかったのか宿題の絵日記にも書く程でした。大人は森林の清涼な空気を満喫し、しばし今夏の酷暑を忘れる事が出来ました。そして山荘の方々の感じの良さ、お食事の美味しさは、今も昔も変わりがありませんでした。来年もまた行きたいと思つた時に、山荘が長く続いて欲しいと願う私です。

これからのワカバ会行事

① <上野散策とおりがみ会館>

例年の通り小林一夫先生のご案内で上野界隈を散策、下町資料館と横山大観記念館を見学。午後はおりがみ会館で来年の干支(辰)やその他の折り紙を教えます。早目にお申込みください。

期日：平成11年10月29日(金)

集合：午前10時 上野の文化会館前

(JR上野駅公園口すぐ前)

費用：5,000円(入館料、昼食代、講習費、保険等)

定員：20名(応募者5名未満の場合は中止)

② <囲碁・一日入門講座> (新企画)

囲碁はとても楽しいゲームです。初めての方、ぜひ一度体験入門してみませんか？

講師：石井久美子先生(小島)(6-1)

(日本棋院普及指導員)

期日：平成12年3月8日(水)

(午前11時～午後4時頃)

定員：20名(応募者5名未満の場合は中止)

参加費：4,000円(昼食代、賞品代含む)

申込締切：平成12年2月21日(月)

会場：ペアーレ新宿(JR大久保駅下車6分)

③ <横浜散策第3回>

西の柱離宮と並称される横浜の名庭「三溪園」を訪ねます。

講師：中村實先生(東北文化学園大学教授、横浜市歴史的資産調査委員)

期日：平成12年4月7日(金)

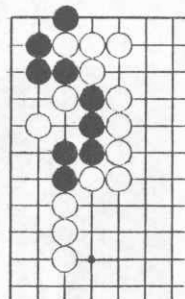
集合：午前10時 JR桜木町駅改札口

定員：20名(応募者5名未満の場合は中止)

参加費：5,500円(昼食代を含む)

申込締切：平成12年3月24日(金)

(各行事とも詳細は参加者あて開催日間に再報します。
お申し込みはワカバ会事務局へ)



総会報告



きな歓声が
上がって、
和気藹々
時のたつの
は早く、予
定の時間が
たちまち迫
りました。
皆様も来年
はご出席下
さい。

第62回ワカバ会総会は去る五月二十三日(日)に母校音楽講堂で開催されました。昨年度は、七十周年記念で晴々しい総会でしたが、また例年の簡素な雰囲気の中で平成十年度事業報告・決算報告が承認され、続いて平成十一年度事業計画・予算案も満場一致で承認されました。今年は、二年に一度の評議員改選に当たり、会場より「会長一任」の声があり、全員の拍手をもって議題を終りました。(出席者数百八名) 続いてなつかしい先生方を囲んでの昼食会と福引大会。ここ数年はお持ち帰りに嵩張らない各種カードの賞品を用意しておりますが中々好評で、番号が読み上げられる度に、先生方の席、新会員の席、また第六の方々と大きな歓声が上がって、和気藹々時のたつのは早く、予定の時間がたちまち迫りました。皆様も来年はご出席下さい。

科 目	平成10年度 決算額	平成11年度 予算額
I. 収入の部		
① 基本財産運用収入	1,130,057	1,125,000
② 会費・入会金収入	9,450,000	9,424,570
③ 事業収入	7,146,437	5,100,000
④ その他収入	6,909,826	9,738,720
当期収入合計 (A)	24,636,320	25,388,290
前期繰越収支差額	67,140,970	67,747,607
収入合計 (B)	91,777,290	93,135,897

科 目	平成10年度 決算額	平成11年度 予算額
II. 支出の部		
① 事業費	16,986,465	18,338,000
② 管理費	6,975,978	6,890,000
③ その他支出	67,240	50,000
当期支出合計 (C)	24,029,683	25,278,000
当期収支差額 (A)-(C)	606,637	110,290
次期繰越収支差額 (B)-(C)	67,747,607	67,857,897

平成10年度決算
平成11年度予算

平成10年度

理事会等報告

- 10月 理事会 出席12名
 - ・各委員会報告
 - ・山荘利用結果報告
- 11月 理事会 出席9名
 - ・各委員会報告
 - ・会報44号発送報告
 - ・新評議員候補選出
- 1月 理事会 出席12名
 - ・丸山奨学金規則改訂について
- 3月 理事会 出席13名
 - ・各委員会報告
 - ・新監事候補選出
- 平成11年度
 - 4月 理事会 出席14名
 - ・各委員会報告
 - ・総会の準備確認
 - 5月15日(土) 評議員会 出席60名
 - ・総会議案承認 (委任状を含む)
 - ・新監事承認
 - 5月23日(日) 第62回ワカバ会総会 出席108名
 - ・10年度決算、11年度予算承認
 - ・新評議員選出の会長一任を議決
 - 6月 理事会 出席13名
 - ・各委員会報告
 - ・総会報告、反省
 - ・新評議員選出

総務委員会

総務委員会は、事務局と力を合わせて総会の準備や事務局の運営にあたっています。

本年度も五月二十三日に第62回ワカバ会総会が無事終了いたしました。会員の皆様のいろいろなご意見をお寄せいただきましたと願っています。

委員長 竹内 和世(5-4)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

私共は同窓生間の親睦、交流を目ざして様々の企画を立てていますが、毎回御参加下さった皆様が年齢・世代の差に拘わらず溶け合い、親しみ合われること、やはり「同窓生ならでは」と嬉しく思っております。今までは女性会員の御参加が多かったのですが、今後は男性会員にも喜んで頂ける企画を心がけねばと思います。御意見をお持ちの方は是非企画部までお寄せ下さい。

委員長 佐々木 昭(5-A)

中村左都子(7-2)

戸田 雅子(19-1)

事業運営委員会

山荘利用者が平成九年度は久し振りに前年を上回りましたが、十年度は残念ながら又減少に転じました。昭和五十七年の開荘後五年間は毎年一五〇〇名以上の利用者がありましたが、昨今は七〇〇名前後に低迷。ニーズの多様化、不況等の理由が考えられますが、皆様のご協力で、是非利用者増を達成したく思っております。大田区鶴の木の駐車場はお陰様で満車です。

委員長

山口謙一郎 (8-1)
杉本貴久子 (16-オ)
竹内 和世 (5-4)
中垣 俊二 (8-2)

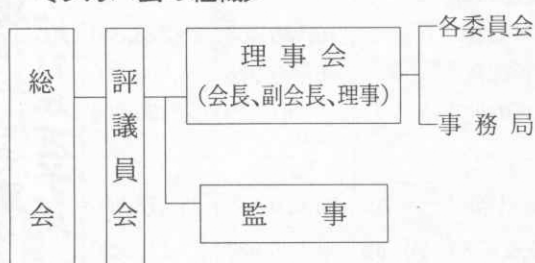
会計委員会

日頃維持会費の納入にご協力頂きまして有り難うございます。ワカバ会は基本財産、維持会費、山荘及び駐車場事業等からの収益により運営されておりますが、主柱である維持会費は現在でも約四分の一の会員が納入されているに過ぎません。維持会費の増収が財政の安定とワカバ会の活性化に是非とも必要です。今後とも会費の納入にご協力下さいようお願い致します。

委員長

笠原 俊也 (15-4)
松永佐智子 (12-エ)
茨木 万理 (19-エ)
平山 孔嗣 (29-2)

<ワカバ会の組織>



平成11年度 評議員

鈴木 文子(恒石) 4-イ、鈴木むめ子(石井) 5-ウ
馬場百合子(板沢) 6-ウ、松崎富士子(宗) 7-エ
関 恵子(徳増) 8-ウ、藤野 櫻子(大木) 9-オ
山本 悦子(深野) 13-ウ、井上美砂子(深井) 14-ウ
斎藤登美子(小川) 16-ウ、西五辻静子(西五辻) 18-エ
青木 久子(永井) 19-オ、上松 洋子 1-1
沢野美奈子(柳) 1-2、臼井 愛子(波田野) 3-1
渡辺 麗子(三田) 3-6、桐生 郁子 4-1
渡辺 和子(横田) 4-3、藤井 康栄(大木) 5-3
仲村 順二 5-3、大木安喜子(関本) 5-6
田中 廣實 5-6、川並 光昭 6-5
齋藤 節子(平田) 7-3、小川しげみ(山田) 7-7
佐藤 輝行 8-1、亀崎 健 8-2
山下 輝雄 8-2、井出 圀子(鮫島) 8-3
鳥居 恭子(梅田) 8-5、瀬戸 武虎 9-2
楢原 晴実(出口) 9-2、手塚 愛子(伊豆村) 10-5
田村 和子(大脇) 10-5、目賀田武蔵 11-5
中島 紀子(今村) 11-7、南原 久子(美濃部) 11-7
山内由加子(小関) 12-6、小宮 防子(木内) 13-1
佐々木蓉子(佐々木) 14-2、榎本 良輝 15-4
銅谷 志朗 15-6、坂井 靖男 16-2
越智 勝子(堀口) 16-7、関根 健之 17-6

斎藤 信之 18-3、花蔭 進 18-3
北村 孝司 18-7、佐藤 芳子(藤田) 19-2
阿部 裕行 19-4、後藤眞理子 19-7
岡山 陽子(森本) 20-3、大室 論 20-6
丑山 孝枝(鈴木) 21-3、松藤 みち 21-3
柳澤 孝子 22-2、酒井 秀夫 22-6
三輪田 真 22-6、平松佳代子(野村) 23-5
西上原節子(三輪) 24-5、高橋 泰行 24-6
高橋誠一郎 25-2、酒井 寛昭 25-5
吉沢百合子(西田) 26-6、佐藤 裕彦 29-3
岩田 辰也 29-4、山本 まみ 31-6
渋谷 千春 32-3、渡辺由里子 33-3
石野 恵美 33-5、中村 和彦 33-8
島津 雄介 35-4、渡辺 修 37-7
小針 淳 40-3、星野 義明 41-6
田中 道朗 42-3、平岡 義隆 42-3

平成11年度 理事

佐々木 昭 5-ア、松永佐智子(田端) 12-エ
杉本貴久子(佐藤) 16-オ
茨木 万理(茨木満璃子) 19-エ
竹内 和世(松本) 5-4、若菜 允子 5-4
中村左都子(本多慈子) 7-2、山口謙一郎 8-1
宇野 修平 8-2、中垣 俊二 8-2
小野 紘一 8-3、鈴木美智子(水野) 9-3
笠原 俊也 15-4、戸田 雅子(宮崎) 19-1
平山 孔嗣 29-2、田中 浩 32-5

平成11年度 監事

寺西千鶴子(吉田) 17-5、市倉 信義 22-6

<敬称略。()内は旧姓・旧名>

ご 寄 付 御 礼

●ワカバ会の古い文書の中から第六高女1回生の方々の卒業当時の作文集が見つかり、コピーをお送りした事への御礼として、1-Cの荒木千代香（柴田）様、斎藤文子（加藤）様、勝呂ヤス（倉橋）様、中村いね様、倉田君恵様より2,500円ご寄付がありました。ありがとうございました。ご丁寧なお礼状を下された皆様にも御礼申し上げます。

●元評議員の小高登代子（小坂）様(12-エ)より10,000円のご寄付をいただきました。長年評議員としてお世話になりまして合わせて御礼申し上げます。

●「小此木慶先生の白寿を祝う会」の皆様より、57,336円のご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。(記事はP.8をご参照下さい)

●第六高女20回の同期会より27,680円のご寄付をいただきました。幹事の小寺静子（小池）様、皆様ありがとうございました。

●三田高校元教諭で1-Eの故高橋登志様の御遺志により御遺族様から総会への御祝金として50,000円のご寄付をいただきました。ワカバ会として、先生には長い間大変お世話になりました。合わせて御礼申し上げます。

●三田高校25回の同期会より30,000円のご寄付をいただきました。幹事の谷口晶子様、伊藤久美子様、皆様ありがとうございました。(記事はP.9をご参照下さい)

✧✧✧✧✧ 編集後記 ✧✧✧✧✧

わかば46号に原稿をお寄せ下さった皆様ありがとうございます。
 とうございます。

この秋号から少し変更がありますのでお知らせしたいと思います。広報委員会報告のところでも触れましたが、今回より『第六通信』というコーナーを設けました。これは、事務局で第六高女の皆さんの文集が発見されたのがもともとのおきっかけです。これを機会に、三田高校の前身である第六高女の卒業生の皆様の思い出などもお寄せいただき、大いに交流を深めていただきたいと思います。

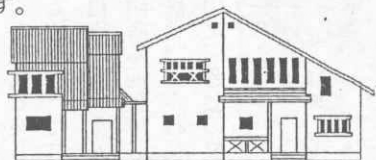
また、『私の近況』は前回で一応卒業回数順で一巡いたしましたが、この『わかば』を読まれた方々に、同期の方の近況を伝える上で、重要な役割を果たしていると判断し、続投させていただくことにしました。

その他、多少の名前の変更をしたコーナーもございますが、この秋号よりしばらくはこの形で『わかば』を発行していきたいと思っています。

最後になりますが、新たに広報委員に津田一哉氏(32-8)、村木真知子氏(24-2)が加わっていただきました。メンバーも充実し、ますますがんばっていきたいと思います。今後とも皆様のご指導、ご意見、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。 H.T記

ワカバ会軽井沢山荘より

南軽井沢にあるワカバ会軽井沢山荘を今年も多く
の会員の皆様にご利用いただきまして、誠にあり
がとうございました。新幹線が開通して早2年、
軽井沢駅南口も賑やかになり、山荘へのタクシー
の便もよくなりました。首都圏からお車で行かれ
る方は上信越自動車道を走って碓氷軽井沢インター
チェンジから15分余りの所です。来年も7月中旬
から9月中旬まで開荘する予定です。カブトムシ
やクワガタもいる美しい緑の林に囲まれた山荘で
自然を楽しんでいただけたと思います。来夏のご
利用をお待ち申し上げております。来春の会報
「わかば」でご案内いたしますのでよろしくお願い
申し上げます。



カッター 田澤志帆

ワカバ会駐車場

(所在地：大田区鵜の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、どうぞご利用下さい。
駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお
問い合わせください。

事務局だより

★今年も維持会費をご納入下さいまして、誠にありがとうございました。維持会費（2,000円）は年一回、会報「わかば」の春号に郵便局の払込取扱票を同封して、毎年お願い致しております。なお今号は秋号なので払込票は同封しておりません。

ワカバ会のすべての活動は皆様からの維持会費で運営されています。会報「わかば」を年2回、約2万名の会員の皆様にお送りできるのも、この会費の中からです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

★前号(11年春号)に同封した住所不明者名簿をご覧いただき、多数の会員の皆様からご友人の新住所をお知らせいただきまして、誠にありがとうございました。住所が判明した方々へは早速会報を再発送することができました。厚く御礼申し上げます。

★クラス会、同期会の幹事の方には、クラス名簿、宛名プリントアウト（有料）を承りますので、どうぞご利用ください。